

平成27年度（平成27年12月実施）
「読書に関する調査」のまとめ

学校教育課通信

平成28年2月29日（月） 第121号
編集・発行：県南教育事務所 佐藤 晃

平成27年12月に実施した「読書に関する調査」の県南域内の調査結果です。今回の結果を各学校での読書活動の推進、充実に役立てていただければ幸いです。なお、各市町村教育委員会並びに各小中学校におかれましては、調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

1 平成27年度の調査結果

(1) 人員 域内全小・中学校全学年（1学級抽出又は全学級）

計 8,066人（域内全小・中学校在籍者数の約66%）

(2) 主な項目の調査結果

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
平均冊数	16.4冊	15.7冊	9.7冊	8.8冊	5.3冊	5.4冊	3.0冊	2.4冊	2.0冊
不読者	0.3%	0.1%	0.3%	1.5%	2.5%	4.4%	13.6%	11.6%	23.9%
8冊以上	63.0%	68.0%	51.2%	44.4%	24.3%	20.4%	6.5%	4.0%	3.9%

2 過去2年間との比較と考察

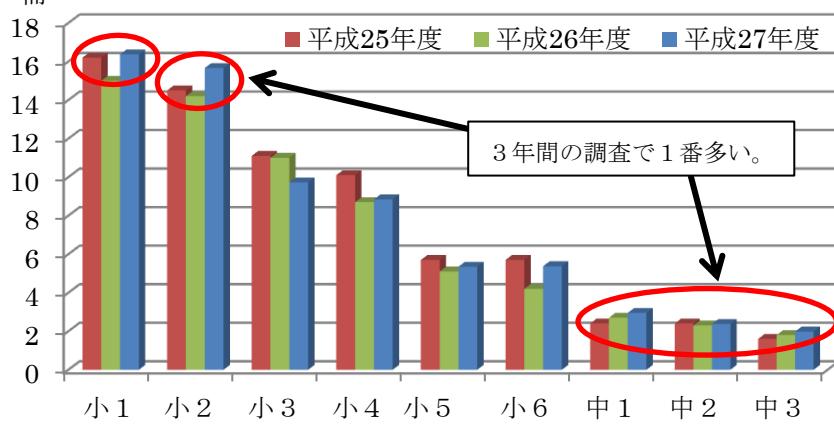
(■ … 3年間で1番よい ■ … 3年間で2番目 ■ … 3年間で1番低い)

【平均読書冊数について】

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
H25	16.2冊	14.5冊	11.1冊	10.1冊	5.7冊	5.7冊	2.4冊	2.4冊	1.6冊
H26	15.0冊	14.2冊	11.0冊	8.7冊	5.1冊	4.2冊	2.7冊	2.3冊	1.8冊
H27	16.4冊	15.7冊	9.7冊	8.8冊	5.3冊	5.4冊	3.0冊	2.4冊	2.0冊

冊

各学年の読書冊数（平均冊数）



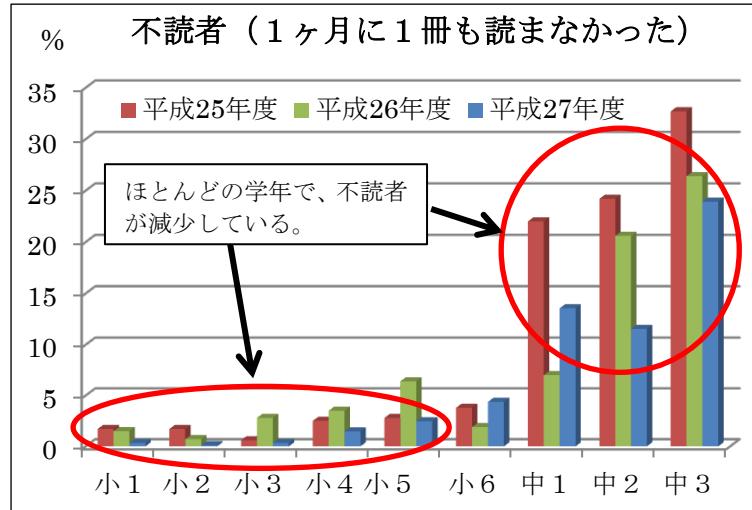
読書したきっかけ（H27調査より）

項目	小学生	中学生
友達に紹介された	5%	10%
学校の図書館で見つけた	53%	13%
公共の図書館で見つけた	12%	6%
本屋で見つけた	10%	53%

○ 小学校3年生以外は全ての学年で前年度より平均読書冊数が多くなっている。特に、小1・小2と中学全学年では3年間の調査で1番読書冊数が多くなっており、読書への意欲が高まっていることがうかがえる。
○ 「読書をしたきっかけ」では小学生は「学校の図書館で見つけた」割合が半分を超えて、中学生では「本屋で見つけた」の割合が半分を超えている。学年が上がるにつれ本屋で見つけた割合が高くなってくるが、中学校においてもさらに学校図書館や公共図書館の活用を図ることで、様々な本への興味が広がり、読書の意欲を高めることにつながると考えられる。

【不読者（1ヶ月間に本を1冊も読んでいない児童生徒）について】

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
H25	1. 7%	1. 7%	0. 6%	2. 5%	2. 8%	3. 8%	22. 0%	24. 2%	32. 7%
H26	1. 5%	0. 7%	2. 8%	3. 5%	6. 4%	1. 9%	7. 0%	20. 6%	26. 4%
H27	0. 3%	0. 1%	0. 3%	1. 5%	2. 5%	4. 4%	13. 6%	11. 6%	23. 9%

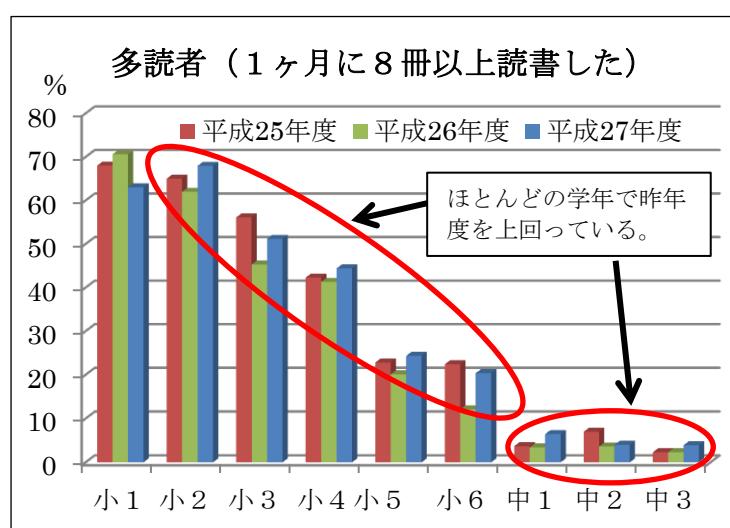


- 全体として不読者率は大きく減少している。
- 小学校では6年生以外、全ての学年で減少し、特に小1～小3までは1%を切る割合となっており、ほとんどの児童が読書に取り組んでいることがうかがえる。
- 中学校でも2年前に比べると、不読者率が大きく減少しており、各学校での取組の成果が表れている。ただ、1月に実施した「読書に関する調査」では、域内のはとんどの中学校で「全校一斉の読書活動」を行っているという結果になっており、そのことを考えるとまだ不読者率は高いといえる。

- 本を読まない理由として、小学校では、第1位「ゲームの方が楽しい」第2位「雑誌やマンガのほうが好き」第3位「遊ぶ方が楽しい」となっている。中学校では、第1位「勉強・塾・宿題などで忙しい」第2位「雑誌やマンガのほうが好き」第3位「ゲームの方が楽しい」となっている。小・中学校ともに読書の意義を理解させ、そのおもしろさを味わわせるような指導の工夫が必要である。

【多読者（1ヶ月に8冊以上の読書者）について】

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
H25	68. 0%	65. 0%	56. 1%	42. 3%	22. 8%	22. 4%	3. 7%	7. 0%	2. 3%
H26	70. 6%	62. 0%	45. 4%	41. 4%	20. 2%	12. 2%	3. 4%	3. 6%	2. 3%
H27	63. 0%	68. 0%	51. 2%	44. 4%	24. 3%	20. 4%	6. 5%	4. 0%	3. 9%



- ほとんどの学年で、昨年度より多読者の割合が増加している。
- 国語科の授業では、単元の中に読書を位置づけ、「並行読書」の取組をしている学校も見られる。今後も、積極的にさまざまな本に触れる機会を設けることが必要である。
- ※「並行読書」…本教材と関連のある本を、単元の学習をすすめながら並行して読んでいく活動
- 中学校においては、単純に冊数だけの比較では見えない部分もあるが、今後、多様な種類の本に触れたり、自分の生き方や考え方へ影響を与えるような本に出会える場を設けたりしたい。

※ 県教育委員会では、「子ども読書活動推進計画（第三次）」において平成31年度までに「本を1ヶ月に1冊以上読んだ児童生徒の割合」の目標値を100%に設定しています。せめて1ヶ月に1冊は、どの児童生徒も本を読む習慣をつけ、読書の楽しさ、よさを味わえるようにしていきましょう。